

事務局 持続可能な組織として

2019年度、事務局に課せられた役割は、恵那青年会議所が「明るく豊かな社会」を目指す上で、その力を最大限に発揮できる環境を整えるためのサポート、また持続可能な組織として運動・活動し続けていくための健全な会議所運営です。開催される諸会議の手配や運営・資料作成などの庶務に加え、経理・財務も受け持ち、組織を土台から支える役割に努めてまいりました。

広報記録活動も事務局が担う大きな役割の一つです。恵那青年会議所の運動を地域の皆様にご紹介いただくため、対外に

園様 恵那市役所様より、4名の一般団員をご輩出いただき、恵那青年会議所からは2名のJIC団員が出席、計6名が恵那より乗船しました。東海地区から合計で約600名が参加する大きな事業、一般団員は未知の経験に不安を抱えていました。交流会、結団式、壮行会を通じ、乗船前から彼ら

「とうかい号」は公益社団法人日本青年会議所東海地区協議会が主催する国内最大級の研修船事業。洋上での船内研修と寄港地での活動により、多くの気づきと一生涯の仲間を手に入れ、企業や地域で活躍できる人材の育成を目指し、毎年開催されている。本年度46回を迎えた。



とうかい号を背に笑顔でポーズをとる乗船者と恵那青年会議所メンバーら(6/8名古屋港にて)

復活味覚焼き！来場者10万人

9月21日、22日と2日間にかけて開催された「みのじのみのり祭」。危惧されていた天候にも恵まれ、来場者10万人と大盛況のうちに幕を閉じることができました。恵那青年会議所としては「秋の味覚焼き」「ENALレンジャー」「クリーンアップ」の3つの部門を担当しました。

(実行委員長 藤井真也)



大きな松茸に舌鼓を打つ来場者(未広通り)

松茸香る 未広通り

待望の味覚焼きが2年ぶりに復活開催。用意された1000セットの松茸も、販売開始から2時間足らずで完売しました。地域の方々の全面的なご協力をいただき設置された焼場では、U字溝の上で焼いた松茸の香りが、未広通りいっぱい広がりました。

新ENALレンジャー

みのじ宣隊ENALレンジャーが装いも新しくフルモデルチェンジ。西銀座通りで行われた「バスケット3on3大会」に登場し、小学生の部優勝



新生みのじ宣隊 ENALレンジャー

チームとの熱戦が繰り広げられた。試合では豪快な必殺技(ダンクシュート)を決め、対戦した小学生や観客を大いに沸かせました。

クリーンに終幕

皆様のゴミ分別へのご理解とご協力のおかげで、滞りなくクリーン作業を終了することができました。

清掃後の町並みはピカピカに輝いて見え、ありがとうございました。ご協力いただき、ありがとうございました。

日韓ホームステイ交流

ヨンドクの地へ

恵那青年会議所は大韓民国の盈徳(ヨンドク)郡にある盈徳青年会議所と姉妹JIC関係にあります。盈徳郡は韓国の西側、日本海に面した人口4万5000人の町です。釜山にある金海国際空港から車で北へ3時間の位置にあり、水産業が発達し、毎年ヨンドクデゲ(スワイガニ)祭りには韓国各地より人が集まります。

本年度も8月25日(4日間の行程で、恵那の子供達(7歳〜13歳)8名とホームステイに盈徳の地を訪れました。到着後、歓迎式典で、ホームステイ先が紹介されました。子供達も高まる期待と不安の表情を見せていました。式典後の合同昼食会では、言葉が通じなくともすぐに打ち解けていました。その後、子供達は各家庭に分かれホームステイへと入りました。ホームステイ先ではマリンスポーツを楽しんだり、韓国の家庭料理をいただいたり、異国の文



ヨンドクで体験する日韓の子供ら

姉妹交流28年目

展開し、友情と絆を深めてまいりました。本年度も8月25日(4日間の行程で、恵那の子供達(7歳〜13歳)8名とホームステイに盈徳の地を訪れました。到着後、歓迎式典で、ホームステイ先が紹介されました。子供達も高まる期待と不安の表情を見せていました。式典後の合同昼食会では、言葉が通じなくともすぐに打ち解けていました。その後、子供達は各家庭に分かれホームステイへと入りました。ホームステイ先ではマリンスポーツを楽しんだり、韓国の家庭料理をいただいたり、異国の文化に触れる貴重な経験ができました。

ホームステイとは異文化体験学習です。異文化や他者との違いを認識する出会いは、他者を受け入れ理解し自分の意思を伝えることで、個性が磨かれます。4日間のホームステイを終えた子供達は新たな友情と共に、たくましく成長した姿を見せてくれました。

(実行委員長 加藤大)



盈徳JICキムチヨルギュ会長(左)と恵那JIC藤下卓己理事長(右)【ヨンドクJIC会館にて】

新入会員4名

会員拡大活動とアカデミー(新入会員研修)を実施しました。アカデミーでは、新入会員の不安を取り除き、少しでも早くJICに慣れ、さらに資質向上を図るために3回の新入会員研修を実施しました。第1回では青年会議所のいろはを学ぶ基礎知識編から始まり、第2回では多くの人と出会う、自身の視野を広げることができ「出向」について学びました。第3回は、同期の絆を強くするため、チームで考え行動する力を付ける研修を実施し、12



新入会員4名と理事長(中央)

新入会員紹介

加藤健二 3月入会 株式会社MARUKA「地域貢献に全身全霊を注ぎます。」

柄澤一樹 7月入会 AFFEST「自分達が住む町をステキな所にした。地域の皆様とともに、様々な場面で一緒に動ける存在でありたいです。」

近松武 7月入会 プルデンシャル生命保険勤務「JICの事業を通じて、生まれ育った恵那市を今より楽しく、ワクワクする町にしたい。将来、自分の子供達が、恵那市に生まれて良かったと感じられる町にしたいです。」

可知麻衣子 8月入会 wplus「子供の頃から育てていただいた地元

会員募集中

恵那青年会議所では一緒に活動していただける方を募集しております。入会条件は20歳から40歳の年齢制限のみとなります。「まちづくりに興味がある」「自己成長したい」「とお考えの方は一緒にやってみませんか。ご興味を持たれた方は、下記掲載の連絡先までお気軽にお問い合わせください。

会員一同、心よりお待ちしております。

一般社団法人恵那青年会議所

#恵那jic

〒509-7203

恵那市長島町正家1-5-11 商工会議所3階

Tel.0573-25-9401

